

## 平成 26 年度 定員 要求 概要

### 1 海上保安庁全体で745人の増員を要求

我が国の領海を堅守するための海上保安体制の強化、海上保安業務を支える基盤体制の強化、海上保安業務の多様化・高度化に対応した治安・防災体制等の強化を図るため、平成26年度定員要求において745人の増員を要求。

具体的には、尖閣領海警備専従体制の確立に向け、新たに就役する巡視船の乗組員等471人を配置するほか、海上における治安対策等を強化するための要員を配置し、業務執行体制を強化する。

要 求 事 項	人 数	要 求 箇 所 等
<b>1 . 我が国の領海を堅守するための海上保安体制の強化</b>	<b>471</b>	
(1) 新規就役大型巡視船の乗組員等	(300)	大型巡視船乗組員等
(2) 本庁・十一本部における領海警備に係る指揮・支援要員	(33)	本庁・十一本部「領海警備対処官」等
(3) 領海警備体制強化のための海上保安学校の定員増	(138)	海上保安学校学生
<b>2 . 海上保安業務を支える基盤体制の強化</b>	<b>198</b>	
(1) 新規就役巡視艇の乗組員	(64)	巡視艇乗組員
(2) 消防機能強化型巡視艇の複数クルー化に伴う乗組員	(40)	巡視艇乗組員
(3) 航空機の高機能化に伴う航空機乗組員等	(64)	航空基地航空要員等
(4) 海上保安学校の定員増に伴う教官等	(30)	海上保安学校教官等
<b>3 . 海上保安業務の多様化・高度化に対応した治安・防災体制等の強化</b>	<b>76</b>	海上保安部署「地域防災対策官」、「鑑識官」等
<b>合 計</b>	<b>745</b>	

### 2 定員合理化 217人